



教育目標 「自主・自立—豊かな心を持ち、自ら学び、心身が健康な生徒を育成する—」  
URL <http://www.koto.ed.jp/fuka8-chu/> e-mail [fuka8-chu@koto-edu.jp](mailto:fuka8-chu@koto-edu.jp)

## ふれあい月間 ～いじめ防止の取組について～

今月は、今年度初めての「ふれあい月間」ですので、本校の取組についてご紹介します。また、6月の全校集会で、生徒の皆さんにもお話しましたが、改めて読んでもらい、取組について理解を深めてもらいたいと思います。

東京都は、6月・11月・2月を「ふれあい月間」と定めて、いじめ防止の取組を行っています。八中でも、皆さんが安心して生活できるように、今年度も次のような5つのいじめ防止の取組を行います。

1つ目は、6月中に「生活アンケート」を全学年で実施して、心配なことや困っていることがないかを調査します。特に今年度はタブレットを利用した「いじめDアンケート」という今までよりも詳細かつ自分のいじめに対する考え方を振り返ることができる内容になっています。

2つ目は、「学校みんなが安心して過ごせるようにするために」と「もしかして、相手にいやな思いをさせていないかな」というタイトルのいじめ防止のリーフレットを配布しました。生徒の皆さんには、よく読んでいじめ防止に役立ててもらいたいと思います。

3つ目は、相談の窓口として、スクールカウンセラーの先生を火曜日（2週間に1回程度）と金曜日（毎週）に配置しています。生徒の皆さんには、心配なことや悩んでいることがあれば、一人で抱え込まないで、些細なことでも迷わず相談してもらいたいと思います。

4つ目は、校長室の前の掲示板に掲示してある皆さんの先輩が作成した下記のような八中オリジナルの「いじめ撲滅宣言」を各教室にも掲示しています。生徒の皆さんには、ふれあい月間の時だけでなく、常に「いじめ撲滅」を意識してもらいたいと思います。

5つ目は、いじめ防止の生徒の意識を高めるために、校長室の前のテーブルにいじめ防止に関する本を立ち読み用に設置しています。

最後に、生徒の皆さんにお願いがあります。

いじめは、どこの学校でも起こる可能性があります。もしかしたら、現在、八中にいじめが起きているかもしれません。どんな理由があってもいじめは許されません。また、いじめを見て見ぬふりをする人「傍観者」もいじめをしている人と同じです。自分で止めることができなくても、周りの大人に知らせてください。いじめを解決するためには、早期発見が重要なポイントです。この機会に、自分の周りにいじめに発展しそうな心配な関係はないか見直してみましょう。みんなの力で八中をいじめのない安心して生活できる学校にしましょう。

### 八中生「いじめ撲滅宣言」

八中からいじめをなくし、互いに助け合い、誰もが楽しいと思える学校をつかっていくために、私たちは以下の宣言をします

- 一、どんなことがあってもいじめはしません
- 一、いじめが起きたときは、周りの人たちと協力して、全力でいじめをとめます
- 一、お互いを尊重して、いじめのない楽しい学校をつくります



校長室前文庫

## タブレットを活用した学校生活調査ツールの新規導入

年度当初の保護者会でご説明しましたが、今年度から新たな不登校生徒やいじめの未然防止を目指して、6月22日からタブレットを活用した学校生活に関わる次のような4種類のアンケート調査を学年ごとに随時行っています。改めまして概要をご紹介します。

【いじめDアンケート】いじめの早期発見・予防を目的としたアンケートです。「いじめ」や「いじめかもしれない」状況を従来の紙のアンケートより詳細かつ迅速に把握し、早期発見・解決が期待できます。

【ニコリ】見えにくい子供たちのメンタルヘルスを可視化できます。20万人以上のデータベースにより、いじめの予兆や不登校の原因となる不調の早期発見・支援につなげることが期待できます。

【学校風土D調査】関係機関独自の調査項目により「学校の雰囲気」を科学的に評価できます。いじめや不登校など学校問題に関係し、文部科学省のCOCOLOプランにも取り上げられている「学校風土」の向上が期待できます。

【デイケン】健康観察のデジタル版です。毎週金曜日、1分程度の入力でメンタル・体調を正確に把握できます。相談ボタンで金曜日に勤務しているスクールカウンセラーにつなぎSOSの早期発見・支援につなげられることが期待できます。（9月から開始いたします。）

【裏面に続きます】

## 6月安全指導 ～6月22日校長講話より～

先日6月22日の安全指導の日に、全校生徒に次のようなお話をしましたので、ご紹介します。

今日は、皆さんが毎日を安心して、楽しく学校で過ごすために、とても大切なお話を2つします。

1つ目は、「想像力と思いやり」に関わるお話です。

時々ニュースなどで、飲食店での「悪質な悪ふざけ」や「迷惑行為」の動画が問題になっているのを見たことがある人も多いと思います。「おもしろ半分」「目立ちたいから」という軽い気持ちで行ったいたずらが、警察の動く大ごとになり、その人自身の人生を大きく変えてしまうという、そんなニュースを見るたびに、私はとても悲しい気持ちになります。これらの行為に共通しているのは、「これをやったら、次にどうなるか」「誰がどんなに困るか」という「想像力や思いやり」が決定的に欠けているということです。これは、決してニュースの中だけの話ではありません。生徒の皆さん、自分の学校生活を振り返ってみて、悪ふざけをして、他の人に迷惑になっていることはないでしょうか。登下校のとき、授業中、休み時間や給食の時間などを、改めて振り返ってみましょう。周りへの配慮ができる想像力と思いやりのある人になってください。

2つ目は、八中の安全な学校生活に関わるお話です。

学校生活の中で、「おかしいな」「間違っているな」「心配だな」と感じる出来事に気づき、そのことを、勇気を出して、信頼できる大人や私たち教員に伝えてくれる生徒が、八中には沢山います。そんな皆さんの行動によって八中の安全な学校生活は、支えられています。心から感謝しています。

これからも、みなさんの周りで、悲しい思いをしている人を見かけたり、心配な行動を目にしたりしたときは、見て見ぬふりをしないで、気づいたことを伝えてください。それは、友達を守り、そして、間違った行動をしてしまっている友達を止めてあげるための、「本当の思いやりであり、本当の勇気」だと思います。そして、私達、教職員は、生徒のみなさんの声を全力で受け止め、すぐに動く準備をしています。誰一人として悲しい思いをしない、誰もが安心して通える学校を、八中丸クルー全員で一緒に作っていきましょう。

最後に、先週の6月19日（金）に、東京北区のある小学校の音楽室で大きな火災が発生し、沢山の小学生がケガをしました。この火事の火元は音楽準備室で火の気のない場所です。また、避難経路が閉ざされてしまって、逃げ場がなくなってしまうという最悪のケースとなってしまいました。その中で、音楽室から脱出して外側の狭いひさしに避難するという、先生の機転と小学生の勇気ある落ち着いた行動によって、全員の命が救われました。

私は、この火災の事例から、次のことを強く感じました。それは、「訓練」と「先生と児童の信頼関係」の大切さです。狭いひさしの上という恐怖の中で、小学生たちが落ち着いて行動できたのは驚くべきことです。日頃から先生と児童の間に強い信頼関係があり、避難訓練を通じて「先生の指示をよく聞く」という基本が身につけていたからこそできた避難行動だったと思います。

この様な行動ができるように、これからも避難訓練に真剣に取り組んでいきましょう。

### ～今年度の避難訓練の予定～

本校では、この火災を教訓として、緊急に校舎内の暖房器具の点検を行い、安全を確認いたしました。また、本校では、様々な火災の状況を想定して、11月の避難訓練では全ての階段が使用できない状況を想定し避難袋を活用した体験型の訓練を、また12月では起震車・煙ハウス・消火器を活用した体験型の訓練を実施する予定になっています。参考までに本校の避難訓練の年間計画をご紹介します。これらの訓練を通して、教職員一同、全生徒の安全・命を全力で守ってまいります。

予定日	内容(想定)	目的	予定日	内容(想定)	目的
4/15	基本避難経路の確認	地震発生時の一次避難 基本避難経路確認	11/12	体験的防災訓練 (全ての階段が使用できない 場合の3階以上からの避難)	避難袋活用による校庭への 避難方法確認
5/7	給食室火災 (使用する階段を指定)	給食室火災の際の 校庭への避難方法確認	12/15	体験的防災訓練	校庭にて起震車・煙ハウ ス・消火器体験
6/9	不審者対応 (避難とさすまた使用)	体育館への避難 隠語を使用した避難放送	1/15	放課後活動中の地震発生	それぞれの活動場所に 応じた危険回避行動の 確認
7/16	居住地区別班確認	地区別班の確認 (班長・副班長選出)	2/2	調理室火災 (使用する階段を指定)	調理室火災の際の 校庭への避難方法確認
9/1	総合防災訓練 (集団下校訓練)	居住地区別班ごとによる 集団下校訓練	3/4	地震による二次災害警戒 (津波・液状化等の危険性)	体育館への避難方法確認
10/18	理科室火災 (使用する階段を指定)	理科室火災の際の 校庭への避難方法確認			

【No.2に続きます】